



macromedia®
FLASHPAPER2

FlashPaper ユーザーガイド

商標

Add Life to the Web、Afterburner、Aftershock、Andromedia、Allaire、Animation PowerPack、Aria、Attain、Authorware、Authorware Star、Backstage、Bright Tiger、Clustercats、ColdFusion、Contribute、Design In Motion、Director、Dream Templates、Dreamweaver、Drumbeat 2000、EDJE、EJlPT、Extreme 3D、Fireworks、Flash、Flash Lite、Flex、Fontographer、FreeHand、Generator、HomeSite、JFusion、JRun、Kawa、Know Your Site、Knowledge Objects、Knowledge Stream、Knowledge Track、LikeMinds、Lingo、Live Effects、MacRecorder ロゴおよびデザイン、Macromedia、Macromedia Action!、Macromedia Breeze、Macromedia Flash、Macromedia M ロゴおよびデザイン、Macromedia Spectra、Macromedia xRes ロゴおよびデザイン、MacroModel、Made with Macromedia、Made with Macromedia ロゴおよびデザイン、MAGIC ロゴおよびデザイン、Mediamaker、Movie Critic、Open Sesame!、Roundtrip、Roundtrip HTML、Shockwave、Sitespring、SoundEdit、Titlemaker、UltraDev、Web Design 101、what the web can be、および Xtra は Macromedia, Inc. の米国およびその他の国における商標または登録商標です。本マニュアルにおける他の製品名、ロゴ、デザイン、タイトル、語句は、Macromedia, Inc. または他社の商標、サービスマーク、商号のいずれかであり、特定の法域で登録されている場合があります。

サードパーティに関する情報

本マニュアルには、サードパーティの Web サイトへのリンクが含まれていますが、このリンク先の内容に関しては、当社は一切の責任を負いません。サードパーティの Web サイトには、ユーザー自身の責任においてアクセスするものとします。これらのサイトへのリンクは、参照のみを目的としてユーザーに提供されるものであり、当社がこれらのサードパーティのサイトの内容に対して責任を負うことを意味するものではありません。

音声圧縮および圧縮解除テクノロジーは、Nellymoser, Inc. (www.nellymoser.com) のライセンス供与によって提供されます。



Sorenson™ Spark™ ビデオ圧縮および圧縮解除テクノロジーは、SorensonMedia, Inc. のライセンス供与によって提供されます。

Opera® ブラウザ Copyright © 1995-2002 Opera Software ASA and its suppliers. All rights reserved.

保証責任の制限

Apple Computer, Inc. は、本ソフトウェアパッケージ内容、商品性、または特定用途への適合性につき、明示と黙示の如何を問わず、一切の保証を行いません。ただし、所管の行政機関によっては暗黙的な保証の制限が許可されず、前述した保証の制限が認められない場合があります。当該保証は法律上の特定の権利を付与しますが、その他の権利は所管の行政機関によって異なります。

Copyright © 2003-2004 Macromedia, Inc. All rights reserved. 本マニュアルの一部または全体を Macromedia, Inc. の書面による事前の許可なしに、複製、複製、再製造、または翻訳すること、および電子的または機械的に読み取り可能な形に変換することは禁じられています。

このコンピュータプログラムは、著作権法および国際条約により保護されています。このプログラムのいかなる部分といえども、許可なしでの複製、使用、配布は善良な市民の権利および法を侵す可能性があり、法の下に厳しく処罰されます。

マニュアル制作スタッフ

プロジェクト管理 : Sheila McGinn

執筆 : Jon Michael Varese

編集 : Anne Szabla、Noreen Maher、Barbara Milligan

制作管理 : Patrice O'Neill

メディアデザイン・制作 : John Francis、Adam Barnett

本マニュアルの制作にご協力いただいた Dennis Griffin、Rosana Francescato、Charles Nadeau 各氏にお礼申し上げます。

初版 : 2004 年 6 月

Macromedia, Inc.
600 Townsend St.
San Francisco, CA 94103
マクロメディア株式会社

〒107-0052 東京都港区赤坂 2-17-22 赤坂ツインタワー本館 13 階

目次

第1章：Macromedia FlashPaper の概要	5
FlashPaper のライセンス認証	5
FlashPaper ドキュメントについて	6
FlashPaper の機能	6
FlashPaper ツールバーの使用	7
第2章：FlashPaper によるドキュメントの変換	9
FlashPaper によるドキュメントの変換	9
Microsoft Office ドキュメントの変換	10
第3章：Microsoft Office アプリケーションの操作	13
FlashPaper ドキュメントでのハイパーリンクの作成	13
FlashPaper ドキュメントでのアウトラインの作成	14
FlashPaper ドキュメントでのアクセシブルコンテンツの作成	15
FlashPaper ドキュメントに変換する Microsoft Excel 印刷範囲の選択	16
[FlashPaper のオプション] ダイアログボックスの使用	17
第4章：他の Macromedia 製品と FlashPaper の使用	19
Macromedia Breeze での FlashPaper の使用	19
Macromedia Contribute での FlashPaper の使用	20
FlashPaper SWF ファイルの作成と挿入	20
[FlashPaper オプション] ダイアログボックスの使用	22
Macromedia Flash での FlashPaper の使用	22
索引	25

第 1 章

Macromedia FlashPaper の概要

Macromedia FlashPaper 2 を使用すると、Microsoft PowerPoint、Word、Excel などの印刷可能なドキュメントを FlashPaper SWF ファイルまたは PDF (Portable Document Format) ファイルに簡単に変換できます。FlashPaper ドキュメントは、元のドキュメントの作成に使用されたソフトウェアを持っていないユーザーとファイルを共有する必要があるときに使用できます。FlashPaper ドキュメントは (SWF 形式でも PDF 形式でも)、Windows および Macintosh 上で表示できます。

FlashPaper Printer (FlashPaper ドキュメントを作成するソフトウェア) は、Macintosh OS 10.2.6 以上、Microsoft Windows XP および Windows 2000 の各オペレーティングシステム上で動作します。

本章は、以下の項で構成されています。

[FlashPaper のライセンス認証](#)

[FlashPaper ドキュメントについて](#)

[FlashPaper の機能](#)

[FlashPaper ツールバーの使用](#)

FlashPaper のライセンス認証

シングルライセンスをお持ちの場合は、FlashPaper をインストールしてから 30 日以内にライセンス認証を行う必要があります (ライセンス認証を行わない場合、FlashPaper は試用版として 30 日間に限り使用できます)。製品のライセンス認証は、インターネット経由または電話で行う簡単な手続きで、数分で完了します。ライセンス認証の際、個人情報の入力はありません。必要なのは、製品のシリアル番号のみです。

FlashPaper のライセンス認証を行うには：

1. FlashPaper の実行ファイルのアイコンをダブルクリックするか、Windows の [スタート] メニューから、[プログラム]-[Macromedia]-[FlashPaper] を選択してください。
2. シリアル番号のラジオボタンを選択します。
3. [続行] をクリックして、次の画面を表示します。
4. Macromedia 製品ライセンス認証ウィンドウにシリアル番号を入力し、[続行] をクリックします。

ライセンス認証を終了したら、製品を使用いただけます。

ライセンス認証の詳細については、<http://www.macromedia.com/jp/software/activation/> をご覧ください。

FlashPaper は、電子メールを使用して製品登録することができます。製品登録を行うと、Macromedia のユーザーサポートを利用できるようになります。

製品登録の際に、アップグレードや Macromedia の新製品に関する最新情報のダイレクトメールを受け取るように申し込むことができます。さらに、www.macromedia.com/jp/ で発表される製品アップデートや新しいコンテンツについて、タイムリーな通知を電子メールで受け取るように申し込むこともできます。

FlashPaper を登録するには：

- FlashPaper では、[ヘルプ] メニューを選択し、オンラインで登録するかまたは登録用紙をプリントするかオプションを選択できます。

FlashPaper ドキュメントについて

FlashPaper を使用すると、あらゆる種類の印刷可能なドキュメントから SWF または PDF ファイルを作成できます。FlashPaper ドキュメントはクロスプラットフォームで表示でき、ドキュメントの作成に使用されたアプリケーションやプラットフォームに関係なく、ソースドキュメントのフォーマット、グラフィック、フォント、特殊文字、色を保持できます。たとえば Windows XP マシン上で Microsoft Excel スプレッドシートを作成した場合、FlashPaper を使用してそれを SWF ファイルに変換し、Macintosh ユーザーに送付できます。

FlashPaper で生成される SWF ファイルは、Macromedia Flash で生成されるものと同じフォーマットです。FlashPaper SWF ファイルは通常、他のドキュメントタイプよりも小さく、Flash をサポートするブラウザで表示できます。また、Macromedia Flash Player で直接表示することもできます。FlashPaper SWF ファイルは Web ページに組み込むことができるため、Microsoft Project、Microsoft Visio、QuarkXPress、AutoCAD など、Web 上での閲覧が容易でないファイルタイプを公開できます。ユーザーがこの Web ページを開くと即座に FlashPaper SWF ファイルが開かれるため、ユーザーは Web ページを閉じることなくファイルを表示できます。

FlashPaper ドキュメントは (SWF 形式でも PDF 形式でも)、スタンドアロンファイルとして機能します。コンピュータに FlashPlayer がインストールされていれば、だれでも FlashPaper SWF ファイルを表示できます。同様に Adobe Reader がインストールされていれば、だれでも PDF ファイルを表示できます。

FlashPaper の機能

FlashPaper ドキュメントを作成する場合は、FlashPaper アプリケーションを使用します。FlashPaper ドキュメントを表示する場合は、Flash Player または Web ブラウザを使用します。

FlashPaper アプリケーション環境には、主に次のような機能があります。

ドラッグ & ドロップによる FlashPaper SWF および PDF ファイルの作成 印刷可能なドキュメントを FlashPaper アプリケーションウィンドウに直接ドラッグすることにより、FlashPaper ドキュメントに変換できます。

PDF を電子メールで送信 FlashPaper を使用すれば、わずか1つの手順で、印刷可能なドキュメントを PDF 形式に変換し、それを電子メールで送信することができます。

Microsoft Office アドイン機能 FlashPaper をインストールすると、Microsoft Word、PowerPoint、および Excel から FlashPaper ドキュメントを直接生成するためのメニューアイテムやツールバーボタンが、これらのアプリケーションにインストールされます。

PDF セキュリティ FlashPaper を使用して PDF ファイルを作成する場合、そのファイルを開く際にパスワードを要求するよう設定できます。さらに、PDF ファイル内のテキストのコピーや編集、グラフィックの変更、ファイルのプリントなどの操作を実行できないように設定することもできます。

右クリックによる FlashPaper SWF および PDF ファイルの作成 デスクトップ上のドキュメントを右クリックし、FlashPaper Printer に直接送ることにより、FlashPaper ドキュメントを作成できます。

表示環境には、主に次のような機能があります。

アクセシビリティ FlashPaper ビューアのツールバーボタン、コントロール、スクロールバーは、障害を持つユーザーがアクセスしやすいように設計されています。また、ADA 法 (American Disabilities Act) Section 508 に従い、スクリーンリーダーを使用して FlashPaper ドキュメント内の本文や代替テキストを読み取ることができます。

自動ハイパーリンク FlashPaper ドキュメントでは、Microsoft Word、PowerPoint、および Excel ドキュメント内のクリック可能なリンクが自動的に保持されます。

ドキュメントのアウトライン FlashPaper ドキュメントでは、Microsoft Word、および PowerPoint ドキュメントの見出しで作成された構造エレメントや移動エレメントが保持されます。

サイズ変更 FlashPaper ドキュメントは、Flash Player やブラウザウィンドウの大きさに関係なく、比例的にサイズ変更されます。ウィンドウをドラッグするか、ツールバーのリサイズオプションを使用して、ドキュメントのサイズを簡単に変更できます。

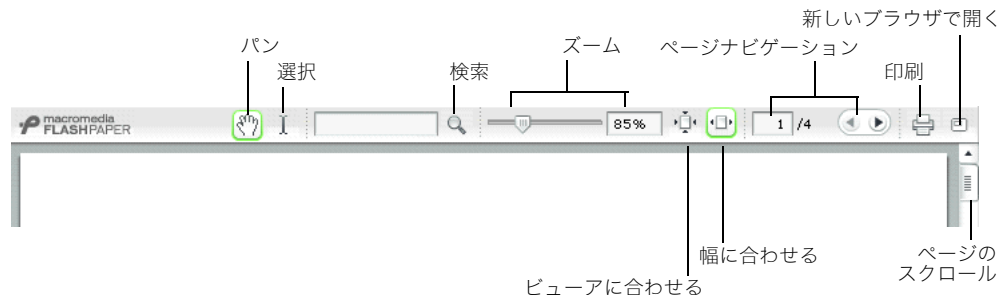
検索 検索機能を使用して、FlashPaper ドキュメント内の単語や単語の組み合わせを検索できます。

テキストの選択 FlashPaper ドキュメント内のテキストを選択し、クリップボードにコピーして、他のドキュメントに貼り付けることができます。

FlashPaper ツールバーの使用

FlashPaper ツールバーにあるオプションを使用すると、ドキュメントのサイズを変更して表示、ドキュメントページの移動、テキストの選択、ドキュメント内の検索、およびドキュメントの印刷が可能です。FlashPaper ツールバーは、アプリケーション環境および表示環境で共通です。

メモ: [ファイル]メニューおよび[ヘルプ]メニューは、アプリケーション環境でのみ表示されます。



ドキュメントを印刷するには:

- プリンタのアイコンをクリックします。

ドキュメント内のテキストを選択するには：

1. [選択] ボタンをクリックします。
2. ドキュメントウィンドウ内をマウスのポインタでドラッグし、テキストを選択します。
Shift キーを押しながらクリックすると、複数の単語や行を選択できます。
3. ドキュメントの表示に戻るには、[パン] ボタンをクリックします。

ドキュメント内で検索するには：

1. 検索テキストフィールドに検索する単語を入力し、[検索] ボタンをクリックします。
最初に一致した単語が選択されます。
2. 次の一致を検索するには、[検索] ボタンを再度クリックします。

メモ： 検索機能を使用するには、Flash Player 7 がインストールされている必要があります。Flash Player 6 以前のバージョンを使用している場合、検索機能を使用できません。

ドキュメントのサイズを変更するには、次のいずれかの操作を行います。

- [ズーム] スライダを使用すると、ドキュメントのサイズを動的に変更できます。
ドキュメントの拡大倍率は、25% ～ 250% の範囲で調整できます。スライダを移動すると、[ズーム] テキストボックスも更新されます。
- [ズーム] テキストボックスに数値を入力すると、ドキュメントのサイズが指定した大きさに変更されます。
- [幅に合わせる] ボタンをクリックすると、ページ全体がビューアに表示されます。
- [幅に合わせる] ボタンをクリックすると、ドキュメントのサイズが変更され、ページの幅がビューアの幅一杯に表示されます。

ドキュメント内を移動するには、次のいずれかの操作を行います。

- [ページナビゲーション] テキストボックスに数値を入力すると、該当するページが表示されます。
- [進む] または [戻る] の矢印をクリックすると、ドキュメント内の次のページまたは前のページに移動できます。
- ドキュメントの右側にあるページのスクロールバーをドラッグすると、複数ページのドキュメント内をスクロールできます。

新規のブラウザウィンドウでドキュメントを開くには：

- [新しいブラウザで開く] ボタンをクリックします。

メモ： [新しいブラウザで開く] ボタンは、FlashPaper 表示環境 (保存済みの SWF ファイル) にのみ表示されます。

第 2 章

FlashPaper によるドキュメントの変換

Macromedia FlashPaper を使用すると、あらゆる種類の印刷可能なドキュメントを FlashPaper SWF ファイルまたは PDF ファイルに変換できます。この章では、印刷可能なドキュメントの変換に関する一般的な情報、および FlashPaper を個別の Microsoft Office アプリケーションと共に使用する方法について説明します。

本章は、以下の項で構成されています。

[FlashPaper によるドキュメントの変換](#)

[Microsoft Office ドキュメントの変換](#)

FlashPaper によるドキュメントの変換

印刷可能なドキュメントを生成する他のアプリケーション (Microsoft Word、Excel、FrameMaker など) で作業しながら、または FlashPaper アプリケーションを使用して、ドキュメントを FlashPaper ドキュメントに変換できます。

Microsoft Office アプリケーションとともに FlashPaper を使用する方法の詳細については、[Microsoft Office ドキュメントの変換](#)を参照してください。

他のアプリケーションで作業しながらドキュメントを FlashPaper ドキュメントに変換するには：

1. ドキュメントを FlashPaper ドキュメントに変換するために使用しているアプリケーションで、[ファイル]-[印刷] を選択します。
2. [プリント名] で、[Macromedia FlashPaper] を選択します。
3. 変換対象のドキュメントに適用するプリンタオプションを設定します。たとえば、アプリケーションによっては、ページ範囲を指定して印刷したり、ページを選択して印刷できる場合もあります。
4. [プロパティ] をクリックして、FlashPaper ドキュメントのページの向きやページサイズを指定することもできます。
5. [OK] をクリックします。
ドキュメントが FlashPaper ドキュメントに変換され、FlashPaper ビューアに表示されます。
6. [ファイル]-[Macromedia Flash として保存] または [ファイル]-[PDF として保存] を選択し、ドキュメントを目的の場所に保存します。

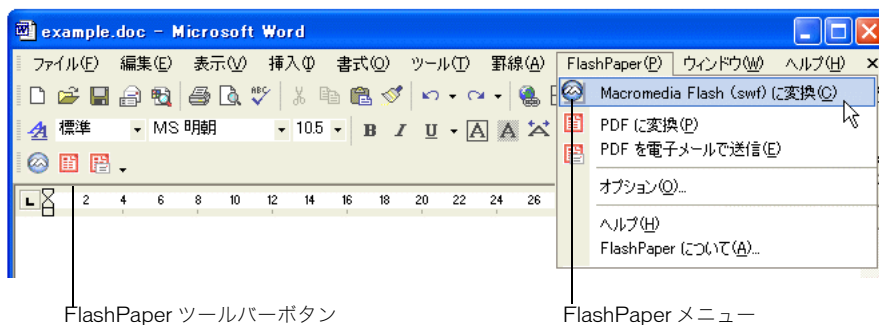
メモ：FlashPaper ドキュメントは、編集することができません。FlashPaper ドキュメントを更新する必要がある場合は、変換元のドキュメントを変更し、それを再度 FlashPaper ドキュメントに変換する必要があります。

FlashPaper アプリケーションを使用してドキュメントを FlashPaper ドキュメントに変換するには：

1. Windows の [スタート] メニューからプログラムのアイコンを選択して FlashPaper を起動します。
FlashPaper ビューアが表示されます。
2. エクスプローラまたはデスクトップから目的のドキュメントを探し、そのアイコンを FlashPaper ビューアにドラッグします。
ドキュメントが FlashPaper によって変換され、FlashPaper ビューアに表示されます。
3. [ファイル]-[Macromedia Flash (.swf) として保存] または [ファイル]-[PDF として保存] を選択し、ドキュメントを目的の場所に保存します。

Microsoft Office ドキュメントの変換

FlashPaper は、FlashPaper メニューおよび FlashPaper ツールバーボタンを Microsoft Word、PowerPoint、および Excel に追加することで、Microsoft Office アプリケーションとシームレスに連携して動作します。FlashPaper ツールバーボタンを使用すると、FlashPaper ドキュメントを 1 回のクリックで作成できます。



FlashPaper ツールバーボタンを使用してドキュメントを FlashPaper ドキュメントに変換するには：

1. 変換するドキュメントを開きます。
2. 以下のいずれかの操作を行います。
 - [現在のドキュメントを Flash に変換します。] ツールバーボタンをクリックし、ドキュメントを FlashPaper SWF ファイルに変換します。
 - [現在のドキュメントを PDF に変換します。] ツールバーボタンをクリックし、ドキュメントを FlashPaper PDF ファイルに変換します。
 - [現在のドキュメントを PDF に変換し、電子メールで送信します。] ツールバーボタンをクリックし、ドキュメントを PDF ファイルに変換して電子メールで送信します。

FlashPaper メニューを使用して、ドキュメントを FlashPaper ドキュメントに変換するには：

1. 変換するドキュメントを開きます。
2. 以下のいずれかの操作を行います。
 - [FlashPaper]-[Macromedia Flash (.swf) に変換] を選択し、ドキュメントを FlashPaper SWF ファイルに変換します。
 - [FlashPaper]-[PDF に変換] を選択し、ドキュメントを PDF ファイルに変換します。
 - [FlashPaper]-[PDF を電子メールで送信] を選択し、ドキュメントを PDF に変換して電子メールで送信します。

ドキュメントを右クリックして FlashPaper ドキュメントに変換するには：

1. エクスプローラまたはデスクトップで目的のファイルを右クリックします。
2. コンテキストメニューから次のいずれかを選択します。
 - [Macromedia Flash (.swf) に変換] は、ドキュメントを FlashPaper SWF ファイルに変換します。
 - [PDF に変換] は、ドキュメントを PDF ファイルに変換します。
 - [現在のドキュメントを PDF に変換し、電子メールで送信します。] は、ドキュメントを PDF ファイルに変換して電子メールで送信します。

第 3 章

Microsoft Office アプリケーションの操作

本章では、Macromedia FlashPaper 2 と連携して動作する Microsoft Office アプリケーションの機能について説明します。Microsoft Office ドキュメントを FlashPaper ドキュメントに変換した場合、ハイパーリンク、ドキュメントのアウトライン、アクセシブルコンテンツなどの一部の要素は自動的に変換されます。FlashPaper を使用して PDF ファイルを作成する場合、Microsoft Word の FlashPaper オプションダイアログボックスで、PDF セキュリティオプションを設定することもできます。

本章は、以下の項で構成されています。

[FlashPaper ドキュメントでのハイパーリンクの作成](#)

[FlashPaper ドキュメントでのアウトラインの作成](#)

[FlashPaper ドキュメントでのアクセシブルコンテンツの作成](#)

[FlashPaper ドキュメントに変換する Microsoft Excel 印刷範囲の選択](#)

[\[FlashPaper のオプション\] ダイアログボックスの使用](#)

FlashPaper ドキュメントでのハイパーリンクの作成

ハイパーリンクが既に含まれている Microsoft Word、PowerPoint または Excel のドキュメントを変換する場合、FlashPaper は既存のハイパーリンクを保持します。

FlashPaper ドキュメントでハイパーリンクを作成するには：

1. 変換元のドキュメントでハイパーリンクを作成します。

たとえば、Microsoft Word 2002 ドキュメントの場合、[挿入]-[ハイパーリンク] を選択してハイパーリンクを作成することができます。ハイパーリンクの作成の詳細については、Microsoft Word、PowerPoint または Excel のヘルプを参照してください。

2. [FlashPaper]-[Macromedia Flash (.swf) に変換] を選択します。
3. ドキュメントを目的の場所に保存します。

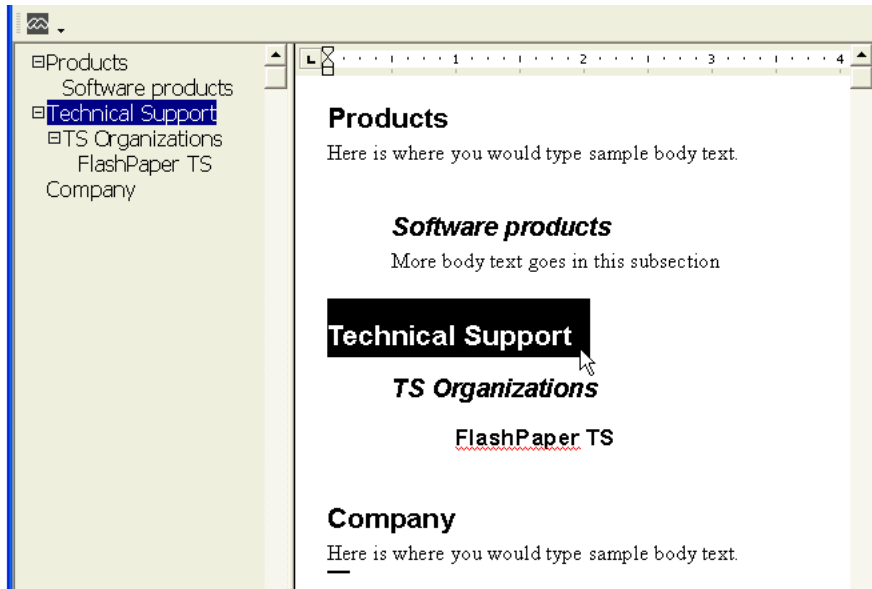
FlashPaper ドキュメントでのアウトラインの作成

アウトラインが既に含まれている Microsoft Word、PowerPoint または Excel のドキュメントを変換する場合、FlashPaper は既存のアウトラインを保持します。Excel ドキュメントの場合、FlashPaper は各スプレッドシートのタブのシート名を使用してアウトラインを作成します。

FlashPaper ドキュメントでアウトラインを作成するには：

1. 変換元の Microsoft Office ドキュメントでアウトラインを作成します。

たとえば、Microsoft Word ドキュメントの場合、テキスト行に見出しスタイルを適用して見出しマップを作成することができます。以下の図では、3 つの見出しレベルを使用している Microsoft Word 2002 ドキュメントを示します。



Microsoft Word での見出しの書式設定の詳細については、Microsoft Word のヘルプを参照してください。

2. [FlashPaper]-[Macromedia Flash (.swf) に変換] を選択します。
3. ドキュメントを目的の場所に保存します。

メモ： 初期設定では、FlashPaper ドキュメントは Microsoft Word および PowerPoint ドキュメントのアウトラインを維持します (Excel ドキュメントの場合、各タブのシート名がアウトラインの見出しに変換されます)。Microsoft Office ドキュメントに既にアウトラインが含まれている場合、変換後の FlashPaper ドキュメントにはアウトラインを含めないようにするには、[FlashPaper]-[オプション] を選択し、[アウトラインを含む] チェックボックスをオフにします。詳細については、「[FlashPaper のオプション] ダイアログボックスの使用」を参照してください。

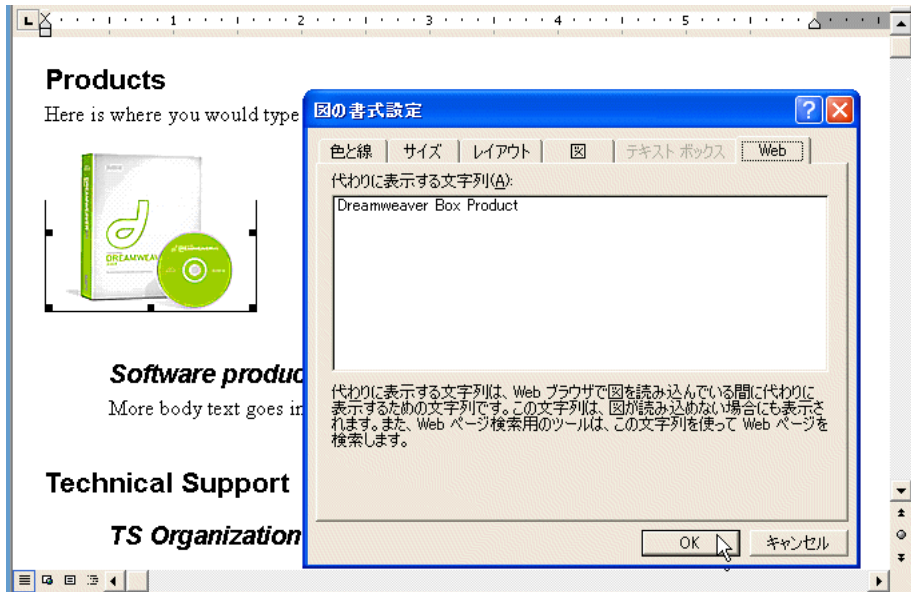
FlashPaper ドキュメントでのアクセシブルコンテンツの作成

アクセシブルコンテンツが既に含まれている Microsoft Word、PowerPoint または Excel のドキュメントを変換する場合、FlashPaper は既存のアクセシブルコンテンツを保持します。

FlashPaper ドキュメントでアクセシブルコンテンツを作成するには：

1. 変換元のドキュメントでアクセシビリティ対応のコンテンツを作成します。

たとえば、Microsoft Word の場合、イメージに代替テキストを割り当ててアクセシビリティ対応のコンテンツを作成することができます。以下の図では、Word ドキュメントで選択されたイメージに、代替テキストが入力された状態の [図の書式設定] ダイアログボックスが表示されています。



代替テキストの作成の詳細については、Microsoft Word、PowerPoint、または Excel のヘルプを参照してください。

2. [FlashPaper]-[Macromedia Flash (.swf) に変換] を選択します。
3. ドキュメントを目的の場所に保存します。

FlashPaper ドキュメントに変換する Microsoft Excel 印刷範囲の選択

Microsoft Excel ドキュメントで、FlashPaper ドキュメントに変換する範囲を指定することができます。たとえば、特定の行と列だけを選択して、FlashPaper ドキュメントに変換することができます。また、複数の Excel ワークシートを選択して、FlashPaper ドキュメントに変換することもできます。

Microsoft Excel で FlashPaper 印刷範囲を選択するには：

1. Microsoft Excel ドキュメントで、FlashPaper ドキュメントに変換する領域をワークシート内でドラッグして選択します。
2. [ファイル]-[印刷範囲]-[印刷範囲の設定] を選択します。
3. 以下のいずれかの操作を行います。
 - [FlashPaper]-[Macromedia Flash (.swf) に変換] を選択し、ドキュメントを FlashPaper SWF ファイルに変換します。
 - [FlashPaper]-[PDF に変換] を選択し、ドキュメントを PDF ファイルに変換します。
 - [FlashPaper]-[PDF を電子メールで送信] を選択し、ドキュメントを PDF に変換して電子メールで送信します。

複数のワークシートを選択して 1 つの FlashPaper ドキュメントに変換するには：

1. Microsoft Excel ドキュメントで次のいずれかの操作を行い、複数のワークシートを選択します。
 - 選択する最初のドキュメントのワークシートタブをクリックした後、選択する他のワークシートのタブを Ctrl キーを押しながらクリックします。
 - ワークシートのタブを右クリックし、[すべてのシートを選択] を選択します。
2. 以下のいずれかの操作を行います。
 - [FlashPaper]-[Macromedia Flash (.swf) に変換] を選択し、ドキュメントを FlashPaper SWF ファイルに変換します。
 - [FlashPaper]-[PDF に変換] を選択し、ドキュメントを PDF ファイルに変換します。
 - [FlashPaper]-[PDF を電子メールで送信] を選択し、ドキュメントを PDF に変換して電子メールで送信します。

[FlashPaper のオプション] ダイアログボックスの使用

Microsoft Office アプリケーションの [FlashPaper のオプション] ダイアログボックス ([FlashPaper]- [オプション]) を使用して、特定のドキュメントオプションを設定することができます。PDF ファイルを作成する場合、[FlashPaper オプション] ダイアログボックスを使用して、PDF セキュリティの各オプションを設定することもできます。[FlashPaper オプション] ダイアログボックスには、[一般] タブと [PDF セキュリティ] タブがあります。

[一般] タブを使用するには：

1. Microsoft Office ドキュメントに含まれているアウトラインが、FlashPaper ドキュメントにも表示されるようにするには、[アウトラインを含む] チェックボックスをオンにします (Excel ドキュメントの場合、各スプレッドシートのタブ名がアウトラインとして表示されます)。

メモ： 初期設定では、このチェックボックスは選択されています。

2. 変換したファイルが、変換後にブラウザウィンドウにすぐに表示されるようにするには、[結果を表示] を選択します。

メモ： 初期設定では、このチェックボックスは選択されています。

3. Microsoft Excel のドキュメントを変換する場合は、次のいずれかの操作を行います。

- [ブック全体を変換] を選択して、すべてのワークシートを変換します (初期設定では、このように選択されています)。
- [選択したシートのみ変換] を選択して、選択したワークシートだけを変換します。

[PDF セキュリティ] タブを使用するには：

1. ドキュメントを開く際にユーザーにパスワードを要求するには、[ドキュメントを開くときにパスワードを要求する] オプションを選択します。[パスワード] テキストボックスにパスワードを設定します。文字と数字の両方を含むパスワードを、32 文字以内で指定してください。なお、大文字と小文字は区別されます。
2. 特定の操作を制限するには、[開いているドキュメントに対して実行できる操作を制限する] オプションを選択し、次の操作を行います。
 - [パスワード] テキストボックスにパスワードを入力します。制限されている操作を行うには、ユーザーはこのパスワードを入力する必要があります。文字と数字の両方を含むパスワードを、32 文字以内で指定してください。なお、大文字と小文字は区別されます。
 - パスワードを入力しないとドキュメントを印刷できないようにするには、[印刷を許可しない] を選択します。
 - パスワードを入力しないとドキュメントを編集できないようにするには、[編集を許可しない] を選択します。
 - パスワードを入力しないとドキュメント内のテキストやグラフィックを選択できないようにするには、[テキストとグラフィックの選択を許可しない] を選択します。
 - パスワードを入力しないとドキュメントに対して注釈の追加や編集をできないようにするには、[注釈やフォームフィールドの変更を許可しない] を選択します。

第 4 章

他の Macromedia 製品と FlashPaper の使用

Macromedia FlashPaper 2 は、Macromedia Breeze、Macromedia Contribute、および Macromedia Flash と連携します。これらのアプリケーションでは、FlashPaper SWF ファイルを使用できます。

[Macromedia Breeze での FlashPaper の使用](#)

[Macromedia Contribute での FlashPaper の使用](#)

[Macromedia Flash での FlashPaper の使用](#)

Macromedia Breeze での FlashPaper の使用

Macromedia FlashPaper と Breeze は統合されているため、Breeze のプレゼンターは FlashPaper SWF ファイルを Breeze の参加者と簡単に共有できます。プレゼンターが FlashPaper SWF ファイルを Breeze コンテンツポッドにロードすると、すべての参加者がそのファイルを読覧できるようになります。プレゼンターは、参加者が読覧できる FlashPaper SWF ファイルの表示を制御できます。たとえばドキュメントの一部のみを表示したり、重要なテキストを選択したり、ページを移動したりできます。

[コンテンツの選択] ボタンまたは [コンテンツ] ポップアップメニューを使用して、FlashPaper SWF ファイルを Breeze プレゼンテーションに追加できます。

[コンテンツの選択] ボタンを使用して FlashPaper SWF ファイルを Breeze にアップロードするには：

1. 自分がプレゼンターをつとめている Breeze 会議室に入室します。
2. Breeze アプリケーションウィンドウの左下隅にある [スライド] ボタンをクリックして、スライドレイアウトを選択します。
3. [コンテンツの選択] ボタンをクリックします。[コンテンツの選択] ボタンが表示されていない場合は、コンテンツポッドの左下隅にあるプラス記号をクリックします。



4. [ファイルのアップロード] ダイアログボックスで FlashPaper SWF ファイルを選択し、[開く] をクリックします。

選択した FlashPaper SWF ファイルが Breeze にアップロードされ、プレゼンテーションウィンドウに表示されます。

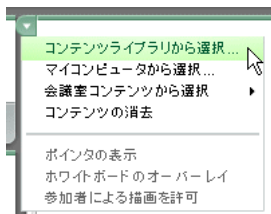
[コンテンツ] ポップアップメニューを使用して FlashPaper SWF ファイルを Breeze にアップロードするには：

1. 自分がプレゼンターをつとめている Breeze 会議室に入室します。
2. Breeze アプリケーションウィンドウの左下隅にある [スライド] ボタンをクリックして、スライドレイアウトを選択します。
3. [コンテンツ] ポップアップメニューをクリックして、次のいずれかを選択します。

[コンテンツライブラリから選択] を選択し、FlashPaper SWF ファイルをコンテンツライブラリから選択した後、[開く] をクリックします。

[マイコンピュータから選択] を選択し、FlashPaper SWF ファイルをコンピュータから選択して、[開く] をクリックします。

[会議室コンテンツから選択] を選択し、Breeze ミーティングにアップロード済みの FlashPaper SWF ファイルを選択します。



選択した FlashPaper SWF ファイルがプレゼンテーションウィンドウに表示されます。

Macromedia Contribute での FlashPaper の使用

Contribute の挿入メニューを使用してドキュメントを FlashPaper SWF ファイルに変換するか、またはドキュメントを Contribute の下書きにドラッグし、FlashPaper SWF ファイルとして挿入します。変換した FlashPaper SWF ファイルを Web ページに埋め込むことで、元のドキュメントを作成したアプリケーションを持っていなくても、Web サイトを訪れた人はだれでもドキュメントを閲覧でき、その際に Web ページの外部に移動する必要もありません。

FlashPaper SWF ファイルの作成と挿入

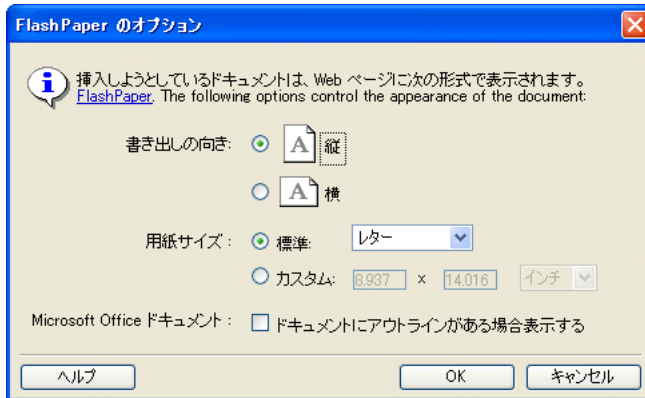
挿入メニューを使用するか、ドキュメントを下書きにドラッグすることで、FlashPaper SWF ファイルを Contribute の下書きに挿入できます。

挿入メニューを使用して FlashPaper SWF ファイルを作成し、挿入するには：

1. 下書きで、FlashPaper SWF ファイルを表示したい場所に挿入ポイントを置きます。
2. [挿入]-[FlashPaper に書き出してから挿入] を選択します。

3. 表示されたダイアログボックスで、FlashPaper SWF ファイルに変換したいファイルに移動し、[開く] をクリックします。

[FlashPaper オプション] ダイアログボックスが開きます。



4. 挿入するドキュメントに適用するオプションを選択します。

FlashPaper オプションの詳細については、「[\[FlashPaper オプション\] ダイアログボックスの使用](#)」を参照してください。

5. [OK] をクリックします。

Contribute がドキュメントを FlashPaper SWF ファイルに変換し、下書きに挿入します。

ドラッグ操作によって FlashPaper SWF ファイルを作成し、挿入するには：

1. 下書きで、FlashPaper SWF ファイルを表示したい場所に挿入ポイントを置きます。
2. 変換するドキュメントをドラッグし、挿入ポイントに配置します。

[Microsoft Office ドキュメントを挿入] ダイアログボックスが表示されます。

3. [ドキュメントを次の形式で挿入：FlashPaper] を選択します。
4. [OK] をクリックします。

Contribute がドキュメントを FlashPaper SWF ファイルに変換し、下書きに挿入します。

FlashPaper SWF ファイルを下書きから削除するには：

1. 下書きで、FlashPaper SWF ファイルをクリックして選択します。
2. Delete キーを押します。

[FlashPaper オプション] ダイアログボックスの使用

[FlashPaper オプション] ダイアログボックスを使用して、挿入する FlashPaper SWF ファイルのページサイズおよびページの向きを設定します。必要に応じて、Microsoft Office ドキュメントのアウトラインを含めるかどうかについても決定します。

[FlashPaper オプション] ダイアログボックスを使用するには：

1. [書き出しの向き] では、[縦] または [横] を選択します。
2. [用紙サイズ] では、次のいずれかの操作を行います。
 - [標準] を選択し、ポップアップメニューから定義済みの用紙サイズを選択します。
 - [カスタム] を選択し、FlashPaper ドキュメントの幅と高さのサイズを指定します。ポップアップメニューを使用して、サイズの単位をインチまたはミリメートル (mm) に設定します。
3. アウトラインを含む Microsoft Office ドキュメントを変換する際に、変換後の FlashPaper SWF ファイルにアウトラインを含めるには、[ドキュメントにアウトラインがある場合表示する] を選択します。
4. [OK] をクリックします。

Contribute がドキュメントを FlashPaper SWF ファイルに変換し、ページに挿入します。

ヒント： [編集] - [取り消し FlashPaper を挿入] を選択すると、挿入したばかりの FlashPaper ファイルを削除できます。

Macromedia Flash での FlashPaper の使用

FlashPaper SWF ファイルは Flash FLA ファイルに挿入できます。FLA ファイルを SWF に書き出すと、書き出された Flash SWF ファイルの一部として FlashPaper SWF ファイルが組み込まれます。

次のコードは、通常の FLA ファイル内の FlashPaper SWF ファイルを loadFlashPaper() 関数を使用してロードする方法を示します。

```
function loadFlashPaper(  
    path_s, // path of SWF to load  
    dest_mc, // MC which we should replace with the SWF  
    width_i, // new size of the dest MC  
    height_i, // new size of the dest MC  
    loaded_o) // optional: object to be notified that loading is complete  
{  
    var intervalID = 0;  
    var loadFunc = function()  
    {  
        dest_mc._visible = false;  
        var fp = dest_mc.getIFlashPaper();  
        if (!fp)  
            return;  
        if (fp.setSize(width_i, height_i) == false)  
            return;  
        dest_mc._visible = true;  
        clearInterval(intervalID);  
        loaded_o.onLoaded(fp);  
    }  
    intervalID = setInterval(loadFunc, 100);  
    dest_mc.loadMovie(path_s);  
}
```

次のコードは、FlashPaper SWF ファイルを組み込んだ後に loadFlashPaper() 関数をどのように使用するかを示します。

```
function onLoad(fp)
{
    // loading is complete, so we can now adjust the current page, zoom, etc.
    // go to page 50.
    fp.setCurrentPage(50);
    // change magnification to 33%
    fp.setCurrentZoom(33);
}
loadFlashPaper("FlashPaper.swf", theDocMC, theDocMC._width, theDocMC._height, this);
```

fp.setCurrentPage 値は 50 に設定され、fp.setCurrentZoom 値は 33 に設定されます。FLA ファイルが書き出されると、組み込まれた FlashPaper SWF ファイルの 50 ページが、書き出された SWF ファイルに 33% の縮小率で表示されます。

索引

B

Breeze、FlashPaper SWF ファイルを使用 19 – 20

C

Contribute、FlashPaper SWF ファイルを使用
20 – 22

E

Excel 印刷範囲の選択 16

F

FlashPaper SWF ファイル

移動 8

印刷 7

検索 8

サイズ変更 8

新規ブラウザで開く 8

テキストの選択 8

「SWF ファイル」も参照

Flash、FlashPaper SWF ファイルを使用 22 – 23

M

Microsoft Office

Excel 印刷範囲の選択 16

FlashPaper オプションダイアログボックス 17

FlashPaper ツールバーボタン 10

FlashPaper メニュー 11

アクセシビリティ対応のコンテンツ 15

ドキュメントのアウトライン 14、17

ドキュメントの変換 10 – 11

ハイパーリンク 13

P

PDF セキュリティ 7、17

PDF ファイル 6、9、10、10 – 11

S

SWF ファイル 6

あ

アクセシビリティ対応のコンテンツ 15

い

移動、FlashPaper SWF ファイル内 8

印刷、FlashPaper SWF ファイル 7

き

機能 6 – 7

け

検索、FlashPaper SWF ファイル 8

さ

サイズ変更、FlashPaper SWF ファイル 8

し

新規ブラウザで FlashPaper SWF ファイルを開く 8

せ

選択、FlashPaper SWF ファイル内のテキスト 8

つ

ツールバーの使用 7 – 8

と

ドキュメントのアウトライン 14、17

ドキュメントの変換 9 – 11

は

ハイパーリンク 13

へ

変換、ドキュメント 9 - 11

ら

ライセンス認証とユーザー登録 5 - 6